

横浜市立相武山小学校 令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
教育理念「まちのみんな ひとつになあれ」 教育目標「互いに見つめ、気づき、やりとげる 相武山の光の子」 【知】 基礎・基本を身につけ、課題を追求し、解決できる子を育てます 【徳】 自分のよさや友達のよさに気づき、人を思いやる子を育てます 【体】 心と体をきたえ、心身ともにたくましく生きる子を育てます 【公】 人や自然、まちとのかかわりを大切にする子を育てます 【開】 学びを生かして自分の夢を育て、進んで取り組む子を育てます	<コミュニケーションを大切にした問題解決能力> ◇よりよい社会の実現を目指す態度 ◇協働的に解決策を見だし実行する能力 ◇伝え合うことで集団の考えを発展させる力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○教育理念・学校教育目標の実現に向けて、人権尊重の精神を基盤とした、子どもたちが安心して心豊かに過ごせる学校づくりをします ・どの子どもも参加できていると感じることのできる「自分ごととして課題を把握する」「すすんで自力解決する」「友達と協働して学びを深める」授業づくりをします。 ・どの子どもにとっても安心して通える、自分が大切にされていると感じる学びの環境づくりを行います。 ・家庭や地域、関係機関、幼保中高と連携し、社会の信頼に応える、まちの中で子どもも育てを進めます。 ・全職員が主体的に参加し、互いに学び続ける学校運営・組織づくりを行います。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 学習指導部	①問題解決能力を育てるために、学習課題の明確化を図り、学習の振り返りを行う授業を推進する。 ②基礎・基本の定着をめざすために、授業の質的向上を図ると共に、少人数指導を効果的に取り入れる。

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

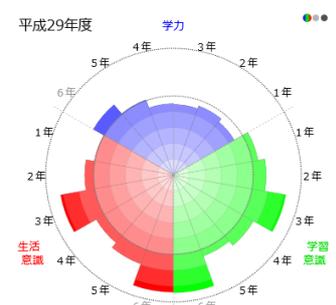
学力は、2年生は横浜市の平均を下回っており、3、4、5年生は上回っている。1、6年生は、横浜市の平均的な学力であるといえる。学習意識及び生活意識においては、全ての学年で市の平均を上回っている。特に4年生は、平成29年度に続き、高い状態を維持している。中学年ごろからの学習意識や生活意識の高まりが、高学年になって徐々に学力として表れてきていると考えられる。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：学習意識は高い。学力は、1、3、4年生では市平均を上回っている。2年生の「書く能力」5年生の「読む能力」に課題。
- 算数科：学習意識は高い。学力は、1、4、5、6年生では、市平均を上回っている。2、3年生に課題。
- 社会科：学習意識は高い。学力は、4、5、6年生では市平均を上回っている。3年生に課題。
- 理科：「技能」については、平成29年度に続き、高い状態を維持している。「思考表現」に課題。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

昨年度と比べると、ほとんどの学年で学習意識と生活意識が高い状態を維持している。教育目標の達成に向けた方策を全教職員の間で共有し、授業改善に取り組んできた結果、どの学年でも、どの教科でも「〇〇の勉強が楽しい」と感じている子どもの割合が市平均を上回っているのは、大きな成果であるといえる。また、昨年度に比べると学力が高まっている。学習、生活意識の高まりが、学力に大きく影響しているとも考えられる。しかし、そう簡単に結果には結びつかない。学習意識の向上を学力の向上に結びつけていくための方策を考えていくことが必要である。今年度以降も自分の考えを創り上げ、問題解決をしていく授業づくりを多く取り入れ、実感を伴った理解を目指すとともに、低学年から基礎・基本の力の確かな育成をめざし、指導と評価の一体化を意識して取り組んでいく。



3 令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆問題を発見する力 ◆自分の考えを伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートカリキュラムを通し、一人一人が安心して自己表現できるようにする。 ○算数科では、具体物を用いた活動を通して基礎・基本が定着できるようにするとともに、学ぶ楽しさを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの人、もの、場所などとふれ合う活動や体験を十分に行い、「自分ごと」として学習していこうとする意欲を引き出す。 ○算数科では、身近な課題について自分の考えをもち、考えを伝える楽しさを感じられるようにする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分なりのイメージをもつ力 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科や学級活動等で、子どもの思いや願いを生かした活動づくりを子どもたちと共に行う。 ○算数科で数や量、長さや距離など身近なものに関わる体験を通し問題を発見する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えのイメージをもって主体的に学習し、お互いに自分の考えを伝え合えるよう支援する。 ○算数的活動を繰り返すことにより実感を持った理解し、考えを深めるよう、学習の場を工夫する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆試行錯誤をする能力 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数科では、学習の流れを理解し、具体物や図などを使ってイメージ化し、思考できるようにしていく。 ○社会科のまちたんけんの学習を通して、まちの人やもの、ことなどを知り、愛着をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を使って自分の言葉（図・式・言葉・数直線など）で表現できるようにしていく。 ○総合的な学習の時間や社会科の学習を通して、まちの人と触れ合い、さらに愛着をもてるようにする。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ◆他者の思いを理解する力 ◆現実と比較する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数科では、学習課題解決に向けて、自分の考えをもち、それを安心して出し合い、互いの考えを認め合いながらよりよい考え方を見つけていく。 ○理科では、身近な事柄について五感を働かせて体感しながら物事の性質を理解し、試行錯誤しながら実験を繰り返して理解を深めていく。また、予想を大切に観察・実験を行い、得られた結果と関連付けて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な学習や社会科の学習を通して、まちの人と触れ合い、まちの人の願いを知り、これからのまちづくりを自分事として考えられるようにする ○国語科で物語文や説明文で作者の伝えたいことを汲み取って自分事として生活に生かしたり、他教科に活用したりする力をつける。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ◆解決手段を定める能力 ◆伝え合うことで自分の考えを進化させる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数科では、少人数指導を行い、わかる喜びを感じ、学習への意欲を向上する。 ○社会科や理科で、活動したり本物に触れ合ったりして実感を持った学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科において、課題の理解→自力解決→解決方法の比較・検討→まとめといった課題解決の過程を定着させ思考力・表現力を養う。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ◆考えの妥当性や信頼性を吟味する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○共に学び合う力の育成をめざす。 ○各教科や学級活動等で、子どもの願いや思いから活動を進め、一人一人の自主性や主体性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関連付けたり、分類整理したり多面的に考えたりする力を育てる。 ○各教科・領域で、自己選択・自己決定の場を取り入れ、主体的な学習活動が行われるよう支援する。
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分の考えを伝える力 ◆他者の思いを理解する力 ◆主体的に学ぶ力 	<ul style="list-style-type: none"> ○「お話し名人になろう」の学習を通して、自分の思いを伝えたり、友達の思いに耳を傾けたりする経験を重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な人と関わる経験を通して、人とのより良い関わり方を身に付ける。